

デバイスデザイナー

「デバイスデザイナー」のトレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を使ってみてください。ただし、デバイスダッシュボードを共有するには、Tableau Online または Tableau Server が必要です。

テクノロジーが進んだ現在では、ダッシュボードが利用されるのは通常のコンピューターだけとは限りません。Tableau のデバイスデザイナー機能では、マスターダッシュボードをもとに、そのダッシュボードがデスクトップ、タブレット、スマートフォンではどのように表示されるかをプレビューすることができるばかりでなく、さらに重要なことにカスタマイズすることもできます。

既定のレイアウト

ダッシュボードを操作する画面では、サイドペインにサイズとそのダッシュボードで使用できるシート、そしてダッシュボードオブジェクトが表示されます。ここでは、既定のダッシュボードを開いています。

既定のダッシュボードについて、知っておくべき重要なことがいくつかあります。

- 既定のダッシュボードは、他のデバイス用レイアウトのテンプレートの役割を果たすため、その都度ゼロから作り直す必要がありません。
- 既定のダッシュボードに含まれているシートだけが、デバイスごとのレイアウトで使用できます。レイアウトからシートを削除することはできますが、使用できるのは既定に含まれているものだけです。

デバイスレイアウトの追加

必要になりそうなものはすべて既定に含まれていることが確認できたら、デバイスレイアウトを追加します。

[デバイスのプレビュー] をクリックして [デバイスのプレビュー] バーを表示します。

- [デバイスのタイプ] では、
 - タブレット、スマートフォン、既定のレイアウト、デスクトップから選択できます。
- 選択したデバイスに応じて、[モデル] に一般的なモデル名とサイズがリストアップされます。
 - このモデルはガイドラインに過ぎないことに注意してください。
- 画面の向きに関するオプションもあります。通常、タブレットは横向きで、スマートフォンは縦です。
- 最後に [レイアウトの追加] をクリックして 選択したデバイスの種類用のレイアウトを追加します。

レイアウトのカスタマイズ

レイアウトを追加したら、最初に決めるのはサイズです。

- 既定では、既定のダッシュボードと同じサイズになっています。
- [すべてを合わせる] では、全体のサイズに合わせて表示されます。既定の自動サイズ調整と同じです。
- [幅を合わせる] では、幅に合わせてダッシュボードが表示されますが、高さは別途指定できます。つまり、ユーザーがダッシュボード全体を見るには、縦にスクロールすることになります。
 - (選択したモデルに応じて) デバイスのフレームが表示され、コンテンツがどこに配置されるかを確認できます。
 - ベストプラクティスとして、スクロールするとさらにコンテンツがあることがわかるように、画面の下部に少し見えるようにしておくと良いでしょう。
- ここでは [すべてを合わせる] にしておきます。

次に、ダッシュボード上の要素のレイアウトを調整します。

- 最初は、既定に従ったレイアウトになっています。
- [カスタム] をクリックすると デバイスレイアウトを直接編集できます。
 - この色の凡例のメニューには [タブレットから削除] というオプションがあります。ここで加えた変更が、既定や他のデバイスのレイアウトに影響しないようにすることができます。

表示されるのは、既定のダッシュボード上にあるコンテンツだけで、ワークブックの他のシートはどれも表示できません。次は、月間利益トレンドを追加してみます。

コンテンツの追加

このタブレットのレイアウトで他のビジュアライゼーションを利用したい場合は、まず既定に追加する必要があります。上部にある [既定] をクリックして、マスターレイアウトに戻ります。

- 月間利益トレンドの Viz を追加してタブレットの画面に戻ると、サイドペインにこのシートが表示されるようになります。自動的にレイアウトに追加されていないのは、すでにカスタマイズを始めていたからです。
- [既定] をクリックすると変更内容がすべて元に戻り、このタブレットレイアウトが既定のレイアウトと再度同期されます。既定がテンプレートの役割を果たしていることがわかります。
 - トレンドの Viz を追加できましたが、色の凡例に加えた変更は失われてしまいました。
 - 元に戻し、利益のトレンドはドラッグして追加しましょう。
 - フィルターの表示方法も変更することができます。マップを少し大きくしてみましょう。
- これで、ほぼ思い通りになりました。他のタイプのタブレットではどのように表示されるか確認してみましょう。モデルをクリックしていくと、さまざまなタブレットでのプレビューが表示されます。
- 各モデルのデバイスフレームは概算であることに注意してください。
 - また、デバイスプレビューでは、chrome アプリやツールバーについては考慮されていないので、その分のスペースを考えておく必要があります。
 - ダッシュボードがパブリッシュされて、そのデバイス上で表示してみると、最終的な見え方が違ってくる場合もあります。そのため、パブリッシュされたダッシュボードを必ず対象のデバイスでチェックしてみることをお勧めします。

デバイスレイアウトの追加

タブレットレイアウトはうまくできました。しかし、このダッシュボードをスマートフォンで見たいユーザーもいます。

別のレイアウトを追加するには、デバイスタイプを選択します。ここでは [スマートフォン] にします。そして、[レイアウトの追加] をクリックします。上部の [既定] レイアウトの下に [スマートフォン] が表示されます。

- 幅が合うようにサイズを設定します。
- [カスタム] をクリックして、編集できるようにします。
- 傾向線を削除します。
- マップを下に移動して、
- サイズを調節します。

これで、スマートフォンでも見やすいバージョンのダッシュボードができました。

レイアウトが指定されていないデバイスでは、既定のレイアウトが使用されることに注意してください。

まとめ

デバイスごとのダッシュボードのデザインについてのトレーニングをご視聴いただき、ありがとうございます。Tableau の使用方法について、引き続き無料トレーニングビデオをご覧ください。